

平成30年度



学校だより

伸びよう 豊かに たくましく ～学ぶ喜びにあふれた学校をめざして～

平成30年4月27日
横浜市立高田小学校

5月号

これから必要なこと

学校長 金子一雄

校庭のポプラや銀杏、桜や楠木の木々たちが、5月を前に、一層緑を深め、とても鮮やかに見えます。暖かく感じられる日が少しずつふえ、中休みに遊ぶ子どもたちも、半袖で過ごす姿が目につく時期となりました。

4月23日の朝会で、総勢20名以上の花壇ボランティア、読書ボランティア、学援隊、主任児童委員、学校地域コーディネーターの皆さんを全校児童に紹介しました。こんなにたくさんの方々に、ご協力いただいていることにあらためて驚かされました。学校の教育活動が成り立つためには、教職員だけでなく、家庭（保護者）・地域の皆様の協力が必要ですが、高田小学校ほど、たくさんの方々にご支援いただける学校はないのではと考えています。日頃より、高田小学校の教育活動に、保護者の方々、地域の方々にご協力、ご支援いただいていることに感謝いたします。ありがとうございます。今年度も、高田小学校の子どもたちのために変わらぬご支援ご協力をいただければ幸いです。よろしく願い申し上げます。

今年の始業式で、進化論で有名なダーウィンの「最も強いものが生き残るのではなく、最も賢いものが生きるものでもない。唯一生き残ることができるのは、変化できるものである。」という言葉を紹介しました。これは、生物の進化についていったものですが、この「変化に対応することが重要だ」というダーウィンの一節は、これからの社会を生きる子どもたちにとって大切な考え方の1つと考えています。

現在は、「変化する社会」といわれています。新しい技術やシステムが次々と生まれ、どんどん生活の中に入ってきています。将来は今以上にそのスピードが増すかもしれません。その新しい技術やシステムを活用することは、有意義で合理的、効率的な生活を送る上で、また、自らの目的を達成する手段として、とても重要になってきます。しかしそれを活用するには、既存の知識を得るだけで満足してはいけません。「新しい知識や技術を学び続けること」が重要になります。その意味で、「変化に対応すること」が必要になってきます。

もちろん学校で、「基礎的・基本的知識を得る学習をすること」も大切です。何事も、基礎・基本が土台ですから、それを疎かにしてはなりません。

しかし、未来を創る子どもたちには、基礎・基本の習得にとどまること無く、自分で考える力「思考力」「判断力」を大切に、学習を進めて欲しいと願っています。「思考力」「判断力」を育むことで、世の中の変化に柔軟に対応し、自らよりよい方向に「変化すること」につながっていくと考えるからです。

学援隊の新規募集のお知らせ

高田小学校では、登校(7:50~8:15)、下校(14:45~15:00)の児童を「見守り」をしていただける地域の方を募集しています。ご自宅近くの通学路で、朝または放課後子どもたちを見守っていただける方がいましたら、学校(副校長 591-0700)までご連絡ください。毎日でなくともかまいません。ウインドブレーカー、交通安全旗などお渡しします。